

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)

【公表番号】特表 2006-527232(P2006-527232A)

【公表日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【年通号数】公開・登録公報 2006-047

【出願番号】特願 2006-515900(P2006-515900)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 K 31/704 (2006.01)

A 6 1 K 38/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/136 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/282 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 37/54

A 6 1 K 31/704

A 6 1 K 37/64

A 6 1 K 31/136

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 31/282

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 25 日 (2007.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

作用物質として、

a) グルタミナーゼ - 活性を有する少なくとも 1 つの化合物及び

b) 白金 - 錯体及びアントラサイクリン類から選択される、少なくとも 1 つの抗新生物薬を含んでいる、癌治療のための薬剤学的な組合せ製剤。

【請求項 2】

グルタミナーゼ - 活性を有する化合物がグルタミナーゼ、グルタミナーゼアスパラギナーゼ、グルタミナーゼ - 類似体、これらの誘導体又は変異体であり、かつ天然由来であるか又は合成的に製造されたものである、請求項 1 記載の製剤。

【請求項 3】

シュードモナス (Pseudomonas) 由来のグルタミナーゼ - 活性を有する化合物が、好ましくはシュードモナス (Pseudomonas) 7 A グルタミナーゼ - アスパラギナーゼである、請求項 2 記載の製剤。

【請求項 4】

グルタミナーゼ - 活性を有する化合物が、好ましくはポリエチレングリコールで、修飾

されている、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の製剤。

【請求項 5】

ドキソルビシン、ダウノマイシン、アクチノマイシン D 又はノ及びミトザントロンを含んでいる、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の製剤。

【請求項 6】

シスプラチン、オキサリプラチン又はノ及びカルボプラチンを含んでいる、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の製剤。

【請求項 7】

作用物質を、場合により薬剤学的に常用の担持剤又は助剤と一緒に、混合し、経口又は非経口の適用形に加工する、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の薬剤学的製剤の製造方法。

【請求項 8】

抗新生物療法のための薬剤を製造するための、グルタミナーゼ - 活性を有する特に 1 つの化合物並びに白金 - 錯体及びアントラサイクリン類から選択される少なくとも 1 つの抗新生物薬の使用。__